

3)学生会

・工学部学生会の活動状況

2004年度に、工学部学生支援委員会の指導の下で、従来活動していた学科の学生組織を基にして、全ての学科・系に学生の自治組織である学生会が設立された。2005年度には、全学の学生委員会から出された「学生の公的組織化の要請」に基づき、各学科・系の学生会を統合した工学部学生会が組織された。この際、各学科の学生会代表が工学部学生会のメンバーとなること、および工学部学生会は、工学部（学士課程）の学生だけでなく、大学院自然科学研究科の工学系の学生も合わせて組織することとした。

2023年度の工学部学生会は、下表の各学科の学生会の役員によって構成され、工学部全体の会長を土木建築学科3年生の中村優志さんが務めた。近年3年生から役員を務める学科が増えてきている。

表1 2023年度各プログラムの学生会構成メンバー

学科名		役名	氏名	年次
土木建築学科	土木工学 地域デザイン	会長	中村 優志	3
		副会長	古賀 基幹	3
	建築学	会長	沼 航輔	3
		副会長	小池結衣子	3
機械数理工学科	機械工学 機械システム	会長	岡田 伊織	4
		会長補佐	上野 広人	4
	数理工学	会長	馬場 大空	3
		副会長	木村 達平	3
情報電気工学科	電気工学 電子工学 情報工学	会長	淵上のどか	4
		副会長	中道陽代	4
材料・応用化学科	応用生命化学 応用物質化学	会長	過能 辰升	4
		副会長	長谷川修哉	4
	物質材料工学	会長	中村 優志	3
		副会長	古賀 基幹	3

各学科の学生会では、これまで新入生歓迎会や研修会、スポーツ交流会、各種イベントなど学生の自主活動を促すための学生間交流や環境づくりが行われてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動もままならない数年間であった。しかし、2023年度は工学部運動会を復活させるべく、工学部の学生会有志が主導する実行委員会が5月に発足した。活動を支えるため、工作機器センターの2階の1室を、工学部は部室として提供し、工業会からも資金援助が行われた。その結果、新たな名称「工闘祭」として復活することが決まり、部室に集まって活動が行われた。10月22に約80名の工学部学生が参加し、午前中は従来の工学部運動会らしく、つなひき、大縄跳び、リレーなどの競技が繰り広げられた。午後にはスポーツ大会が行われ、学科を超えた交流がサッカー、バスケットボール、ミニバレーなどの競技で実現した。参加した学生たちは大いに楽しんでおり、来年度以降もこのような持続的な活動が期待される。

10月23日に開催された工学部長との懇談会では、各学科の学生会代表が出席し、日頃の学生生活や勉学環境に対しての要望を出し、それに工学部執行部及び教務委員長、学生支援委員長が回答する形で対面形式により実施された。さらに、12月5日に開催された学長との懇談会では、工学部からは学生代表1名が出席し、他学部の代表学生と共に大学レベルで取り組む必要がある施設、設備や大学のシステムについての質問と要望を出し、大学改善に向けて大学と学生の間で活発な議論を展開した。また、生成AIの利活用やキャリアプランのテーマでの意見交換も行われていた。

構成員を見てわかるように幹部が4年次であるところが多いが、実際に実行委員会で主となり活動していた学年は2-3年次であった。これは、学年が一番上である人が幹部になる傾向にあるらしい。幹事が4年次でもよいが、連絡がスムーズに行われるよう、幹事が4年次のところは3年次と4年次の1人ずつ選出するよう、将来的には変更していきたい。